

ジャパン・レターアーツ・フォーラム主催 ワークショップ

レターカッティング入門

- 講師 ゴードン恵美
- 会場 ●大阪会場 弁天町市民学習センター 美術室 (大阪市港区)
<http://www.osakademanabu.com/bentencho/>
●東京会場 世田谷ものづくり学校 2A 教室 (三軒茶屋)
<http://www.r-school.net/about/access.html>
- 開催日時 大阪 2010年4月17日(土)～4月19日(月)
東京 2010年4月23日(金)～4月25日(日)
両会場共に 10:00～16:30
- 参加費 34,000円(石代1枚分込み)
東京会場は、会場に荷物を置いて帰る費用(保管料)として別途1泊500円がかかります(当日徴収)。ご了承ください。
- 定員 大阪会場 10名
東京会場 10名
- 申込方法 電子メールのみの申込みとし、下記事項を記入したメールを下のアドレスに送信下さい。パソコンからのメール受信可能な状態であれば、携帯電話のメールでの申込みも可能です。
 - 1) 件名に「ゴードン恵美 WS 東京会場」又は「ゴードン恵美 WS 大阪会場」と記入して下さい。
 - 2) 氏名(ふりがな)、住所、電話番号
自動返信メールが設定されています。届かない場合には照会下さい。
- 申込締切日 2月28日(日) 但し、定員に空きがある場合には、その後の申込みも受け付けます。空きの有無はJ-LAFウェブサイトでお知らせします。 <http://j-laf.org/>
- 送信先 workshop@j-laf.org (WSに関する質問、ご意見もこのアドレスまで)
- 持ち物 ペーパータオル1ロール、カッターナイフ、HBの鉛筆2本、カラダッシュ社の水彩用鉛筆の白を2本、(入手できない場合は、日本製の水彩用鉛筆でもかまいません) 定規、三角定規、セロテープ、マスキングテープ、黄色などの淡い色のカーボン紙またはチャコペーパー(文字を石に写すため)1枚、エアークレップまたはプチプチの包装用ビニール(石を保護するため)100cm x 100cmを2枚
- 主催 J-LAF (ジャパン・レターアーツ・フォーラム)

スライドショー

東京会場(世田谷ものづくり学校)にて4月23日(金)18:00からスライドショー(30～40分程度)を開催します。WS参加者以外の方もお申込みいただけます。参加ご希望の方は、下記E-mailへお申込みください。ご記入いただく内容は、ワークショップと同様ですが、件名に「スライドショー申込み」とご記入ください。参加費は500円です。当日会場にてお支払い下さい。
*** WSに参加者される方は、申込み・参加費ともに不要です。 workshop@j-laf.org**



ゴードン・恵美 プロフィール

1995年にカリグラフィーを東京で習いはじめる。翌年、トーマス・イングマイヤー氏のワークショップを受け、海外でカリグラフィーを学ぶ事を決意する。2年の準備期間を経て、97年に渡英、98年にローハンプトンのカリグラフィー・ディグリー(学位)コースに入学する。2001年にこのコースを卒業後、2002年にケンブリッジにあるレターカッティング工房であるカードゾ・キングスリー・ワークショップ(Cardozo Kindersley Workshop)に入門する。2006年に長女出産のため退職するまでの4年半勤務する。現在は独立してレターカッティングとカリグラフィーの仕事が続ける。2002年、CLASのBrian Walker賞受賞、同年から2004年までSSIのAdvanced Training Schemeのコースに参加。その他多数のカリグラファー、レターカッティングのワークショップやレクチャーに参加。

* 講師ウェブサイト <http://www.tsukusidesign.com>

■ クラス概要

石に手彫りで字を彫るレターカッティング"Letter Cutting"(またはレターカービング"Letter Carving"と呼ばれる)は現在も英国国内だけではなく、ヨーロッパの国々で続けられている伝統工芸です。この入門コースではヴィーカット"V-Cut"と呼ばれる彫り方で文字を彫ることを学びます。このヴィーカットは、ローマ帝国時代にすでにその手法が確立され、当時の碑石に使われていたローマキャピタルの文字のほとんどはこの彫り方で彫られています。

イギリスではエドワード・ジョンストン(1872-1944)の教え子だったエリック・ギル(1882-1940)がそのローマ時代の伝統的手法を彼の石碑の作品に多用し、彼のワークショップで培われたレターカッティングの精神、技術、そして教法は彼の弟子達を通じて今なお多くの職人の中に息づいています。この入門コースはそのギルの弟子であったデービッド・キングスレー(1915-1995)の教法で進めていきます。石の彫り方だけでなく、道具や石の取り扱い方などにも重点を置く予定です。今回のコースの中では、文字のレターフォーム、デザインなどに関して重きを置いていませんが、ローマキャピタルの基本の成り立ちについてを簡単に復習いたします。

■ コースの内容(初心者の場合)

- 1日目 石と道具の扱い方 彫り方の注意すべき点
- 2日目 デザインされた文字を石に写し、石を実際に彫り始める
- 3日目 仕上げ

経験者の方には別のプログラムが用意されます。詳細は後ほどお知らせします。

■ 参加資格

ローマキャピタルをペンや平筆で書いた事がある方、またはローマ体のタイプフェイス(例えばPalatino, Optimaなど)を鉛筆でドローイング出来る方。

■ 今回使う石の大きさ

15 x 15 x 2 cm または、10 x 22.5 x 2 cm

■ 当日までの宿題(初心者の方へ)

ワークショップで彫りたい石のサイズを上記のサイズから選びそのサイズに合わせてローマキャピタルで1単語(例えば"ORIENT"など)を上下左右のマージンを考えながらレイアウトペーパーに書いて来て下さい。だいたいメインシステムの幅が約5mmぐらいで、エックスハイトが4cm～5cmぐらいの間での文字を目安としてください。もちろん、基本的にはその他の大きさの字や数字でも構いません。

■ 道具貸し出し

道具をお持ちでない方には、鑿とダミーと呼ばれるハンマー、そして鑿を研ぐための砥石は貸し出しいたします。ワークショップ終了後にお持ち帰りになりたい方には、実費にて(約1万5千円)お分けできます。

